

# connect

[コネクト]

第10号

令和6年4月・7月合併号

医療の“いま”、病院の“いま”を  
お伝えします。

特集 **総合診療科**

能登半島地震 **DMAT派遣活動報告**

上町いまきいれ病院 **眼科**

● [INFORMATION] 医師紹介 / 瑤子女王殿下が当院を御視察されました

つながる医療 つながる生命



公益社団法人昭和会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL

いまきいれ総合病院

# 特集① 総合診療科

年間約5,000台(2023年度)、鹿児島市内屈指の救急搬送件数を誇るいまきいれ総合病院においては、単一の疾患ではなく多彩な疾患を同時に抱える患者さんが多数搬送されてきます。そのような患者さんに対して、総合診療科では様々な専門科と連携しながら治療を行っております。内科的な疾患だけにとどまらず、外傷患者さんの入院患者管理も行っております。また、独居の高齢者で動けない患者さんや、他のどの専門科にもあてはまらない患者さんなども受け入れており、当院を受診した患者さんの行き場がないなどということを生じさせない役割も担っております。外来においても同様で、紹介状を持たないで受診された患者さん、内科系外科系を問わず専門科が対応困難のタイミングで紹介受診された患者さん、などの対応も行っております。また、外科系他科からは内科的管理の相談を多数受けております。



救急・総合診療科 外来受付(1階)

## 当科入院となる主な疾患

- 内因性：誤嚥性肺炎、尿路感染、敗血症、電解質異常、横紋筋融解症、不明熱など
- 外因性：腰椎圧迫骨折、外傷性くも膜下出血(軽症)など

当院は初期臨床研修施設として毎年8名の研修医を採用しておりますが、当科では研修医教育に特に力を注いでおります。彼らを教育し、2年という短い期間で医師としての基礎を築き、どの専門科に進んでもやっつけの力を身につけさせることに注力しております。

## NP(診療看護師)紹介

2023年度より、当院で初のNP(診療看護師)を採用し、当科専属として働いております。NPとは、5年以上の経験を積んだ看護師が専門の大学院へ2年通った後に試験に合格して得られる専門資格で、その後初期研修医のような研修を2年間行い各専門分野へ進むのが一般的です。医師の監督のもと医師の行う業務の多くをカバーし、かつ、看護師としての目線も持って患者さんの診療に当たっております。



救急合同カンファレンス

### 地域の医療機関の

### みなさまへ

月曜～金曜まで午前午後全ての時間帯で外来を行っております。土曜日は午前のみです。どこに相談していいかわからない患者さん、急を要し予約外で当日すぐに受診させたい患者さんなど、お困りの際にはご相談いただければ可能な限り対応いたします。

#### 部長 鶴将司

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 総合診療専門研修特任指導医
- ICLSインストラクター
- 臨床研修指導医養成講習会修了医
- 緩和ケア研修修了医

#### 医長 湯田琢馬

- 日本内科学会認定内科医
- 日本プライマリ・ケア学会認定指導医
- 日本プライマリ・ケア連合学会  
家庭医療専門医
- 日本旅行医学会認定医
- 日本専門医機構  
総合診療専門研修特任指導医
- 日本専門医機構  
総合診療専門研修プログラム統括責任者
- 臨床研修指導医養成講習会修了医
- 緩和ケア研修修了医

#### 医師 大磯陽子

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本消化器病学会消化器病専門医
- 日本消化器内視鏡学会  
消化器内視鏡専門医
- 日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医
- マンモグラフィ読影認定医
- 日本人間ドック学会認定医
- 日本人間ドック健診専門医
- 日本医師会認定産業医
- 緩和ケア研修修了医

#### 医師 三宅健治

- 日本外科学会認定医
- 日本医師会認定産業医
- 日本体育協会スポーツドクター

#### 医師 隅本輝

#### NP科長 岩下美里

# 特集② 能登半島地震 DMAT 派遣活動報告

令和6年能登半島地震被害に伴い石川県から厚生労働省DMAT事務局を通して鹿児島県に対し災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣要請があり、当院からは日本DMAT隊員5名(医師1名、看護師2名、業務調整員2名)が1月28日から2月2日までの日程で派遣されました。1月28日に自院の救急車両(4WD、スタッドレスタイヤ装着、タイヤチェーン携行)で鹿児島を出発し、1月29日16時に石川県鳳珠郡穴水町役場内に設置された穴水町保健福祉調整本部/DMAT活動拠点本部に到着の報告をすると早速、併設の公立穴水総合病院での夜間ER搬送待機業務の指示を受けました。



## いまきいれDMAT 石川県穴水町へ出発



病院内外は至る所に損壊が見られ、周辺地域には多くの全半壊家屋を認めましたが、地域の拠点病院でもある穴水総合病院(病床数100床)は既にER業務と20名程度の軽症者の入院受け入れを開始していました。

病院の電気系統は復旧していましたが、断水状態であり雪解け水を溜め水として使用しているという状況でした。我々は損壊を免れた病院内のスペースで翌朝まで待機し、1月30日は7時30分に骨折患者を金沢医科大学まで搬送業務を行いました。

## 1月30日 金沢医科大学病院へ緊急搬送



金沢医科大学病院

幹線道路の啓開は完了していましたが道路には陥没や地割れ、うねりが頻繁に現れ、運転には細心の注意が必要で通常は片道1時間20分のところ2時間40分を要しました。その日は七尾港に停泊中のナッチャンWorld(防衛省備船)に宿泊しました。



ナッチャンworld

1月31日は穴水総合病院ERの日勤業務の指示を受け、七尾港を6時30分に出発しました。先遣隊や鹿児島県調整本部からの情報どおり穴水に向かう道路は奥能登への物資輸送や支援のための車両で渋滞を来しており、やはり病院到着までは時間を要することになりました。ERでの日勤業務は診療のみならず、清掃や水汲み、灯油の補充など要請があれば如何なるものにも対応しました。

17時30分、次隊である沖縄チームへ業務を引き継ぎ我々の活動は撤収し、2月2日全員無事に病院に帰還しました。

## 1月31日 穴水総合病院のER日勤業務



室内清掃、灯油の補充など診療以外の要請にも対応



沖縄県のDMATへ業務引き継ぎ

今回の派遣で感じたことは半島地震の特異性です。半島地域は主要道や緊急道の寸断で容易にアクセスが困難になります。鹿児島県も薩摩半島と大隅半島の2つの半島があることから、道路啓開の整備や普段から地域で有事の対応を検討しておくことが重要ではないかと考えます。

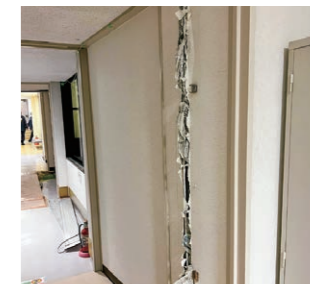
また、今回の地震では一時的に避難者を受け入れる1.5次避難所やホテルや旅館などの2次避難まで、県境を超える広域避難が大規模に実施されたのも特徴です。当院においても地域の公民館や避難所からキラメキテラスのホテル施設等を利用する場合や被災状況によっては市や県を跨いでの避難も想定されます。キラメキテラス内でも災害が起こった場合

の病院・ホテル・サービス棟での連携体制を構築し、災害に強いまちづくりの体制整備が必要とあらためて感じました。普段より近隣の地域住民の状況についても市をはじめとした行政の協力を得ながら要配慮者等のニーズを把握し、地域住民参加型の災害訓練を行い、災害に関する知識を一緒になって高めていきたいと思います。

この度DMAT派遣活動にご支援、ご協力を頂いた全ての皆様に深謝申し上げます。

被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

救急科 西山 淳



# 特集③ 上町いまきいれ病院 眼科

## 診療科紹介

上町いまきいれ病院眼科では、常勤医3名・非常勤医4名の計7名の医師をはじめとし、視能訓練士や医師事務作業補助者など眼科専任のスタッフでチーム一丸となり診療にあたっています。今給黎総合病院時代は外来に多くの診療科がありスペースも限られていましたが、上町いまきいれ病院へ移転する際に専用の検眼室や手術室を設け、ゆとりのある空間で受診していただけるようになりました。

当科では高度かつ安全な医療の提供を使命とし、多様化するニーズに対応すべく充実した手術環境を整え年間多くの手術を行っています。例えば白内障手術において、普段の視環境や生活スタイルに応じた見え方のために適応により多焦点眼内レンズや乱視用眼内レンズが選択できるよう複数の眼内レンズを採用しています。また、手術の際は術中や術後に与える影響を軽減するため小切開手術を行っています。白内障手術では従来の方法での切開創は3.0mm程度でしたが、当科では2.4mmと小切開を採用、糖尿病網膜症・網膜剥離・黄斑前膜・黄斑円孔・白内障に伴う水晶体落下など難症例に対する硝子体手術についても、27ゲージシステムを採用することにより切開創は0.4mmの小切開のため縫合を不要とします。その他にも硝子体内注射や翼状片などの外眼部手術等、様々な疾患に対する手術を行っておりますので眼で気になることがある際は是非一度ご受診ください。



### 地域の医療機関の

### みなさまへ

全身状態に不安のある場合や高度な技術を要する難症例手術、緊急を要する眼疾患にも入院での治療が可能です。遠隔地から負担の少ない受診になるよう初診入院での手術体制を整えています。手術をお急ぎの方についてもご相談ください。

#### 常勤医

##### 医長 古江 恵理

- 日本眼科学会眼科専門医
- 鹿児島大学眼科所属

##### 医師 北國 陽

- 鹿児島大学眼科所属

##### 医師 澤園 愛紗

- 鹿児島大学眼科所属

#### 非常勤医

##### 医師 上村 昭典

- 日本眼科学会眼科専門医
- 前鹿児島市立病院眼科部長

##### 医師 吉永 就正

- 日本眼科学会眼科専門医
- 前原総合医療病院眼科医師
- 前鹿児島大学眼科学教室講師

##### 医師 白澤 誠

- 日本眼科学会眼科専門医
- 鹿児島大学眼科学教室助教

##### 医師 徳永 義郎

- 日本眼科学会眼科専門医
- 徳永眼科手術執刀顧問
- 前昭和大学眼科学教室助教

# Information

IMAKIIRE General Hospital



## 4月入職医師紹介

### いまきいれ総合病院



消化器外科  
部長  
高取 寛之

- 日本外科学会外科専門医・指導医
- 日本消化器外科学会専門医・指導医
- 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
- 日本がん治療認定医機構暫定教育医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本大腸肛門病学会大腸肛門病専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)
- 医学博士(鹿児島大学)
- 緩和ケア研修修了医



歯科  
部長  
鎌田 ユミ子

- 歯科医師臨床研修指導医
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- 臨床能力試験臨床実地試験認定評価者
- 歯科医師臨床研修プログラム責任者

皮膚科  
部長  
山筋 好子

- 日本内科学会認定医
- 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
- 日本アレルギー学会専門医
- 日本医師会認定産業医
- 医学博士(鹿児島大学)
- 緩和ケア研修修了医

呼吸器内科  
科長

松田 浩子

- 日本呼吸器学会専門医・指導医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 医学博士(鹿児島大学)
- 緩和ケア研修修了医

整形外科  
科長

伊藤 博

- 日本整形外科学会整形外科専門医
- 日本整形外科学会脊椎脊髄病医
- 腱板・骨折RSA(リバース型人工肩関節置換術)認定医
- BKP(経皮的バルーン椎体形成術)認定医
- 医学博士(昭和大学)



消化器外科  
医長  
園田 智洋

整形外科  
山田 佳奈

- 日本整形外科学会整形外科専門医

消化器内科  
高橋 傑

- 緩和ケア研修修了医

救急・総合診療科  
山下 未央

- 緩和ケア研修修了医

泌尿器科  
竹山 向日葵

- 緩和ケア研修修了医

放射線診断科  
名ヶ迫 強

- 緩和ケア研修修了医

消化器内科  
古川 淳一郎

- 日本内科学会認定内科医
- 日本消化器病学会消化器病専門医
- 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
- 緩和ケア研修修了医

脳神経内科  
川野 紘平

- 緩和ケア研修修了医

形成外科  
山田 健人

- 緩和ケア研修修了医

泌尿器科  
喜入 亨

- 緩和ケア研修修了医

歯科口腔外科  
樋渡 萌美

- 日本口腔外科学会口腔外科認定医
- 緩和ケア研修修了医

消化器外科  
吉留 じずか

- 緩和ケア研修修了医

泌尿器科  
樫木 伴直

- 緩和ケア研修修了医

頭頸部・耳鼻咽喉科  
竹元 尊徳

- 緩和ケア研修修了医

### 上町いまきいれ病院

眼科  
北國 陽

- 鹿児島大学眼科所属

眼科  
澤園 愛紗

- 鹿児島大学眼科所属

### NEWS

## 瑤子女王殿下が当院を御視察されました

NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会の名誉総裁であられる三笠宮家の瑤子女王殿下が、「快護生活フェス!福祉機器展&セミナーinかごしま」に御臨席および地方事情御視察のため3月22日(金)から24日(日)に鹿児島県にお成りになり、協会の中石真一路理事長、西田伊豆美理事と、いまきいれ総合病院を御視察されました。

当院では、アトリウムを通り、外来、入退院支援センターを御視察されました。



※掲載許可済の写真を使用しています。



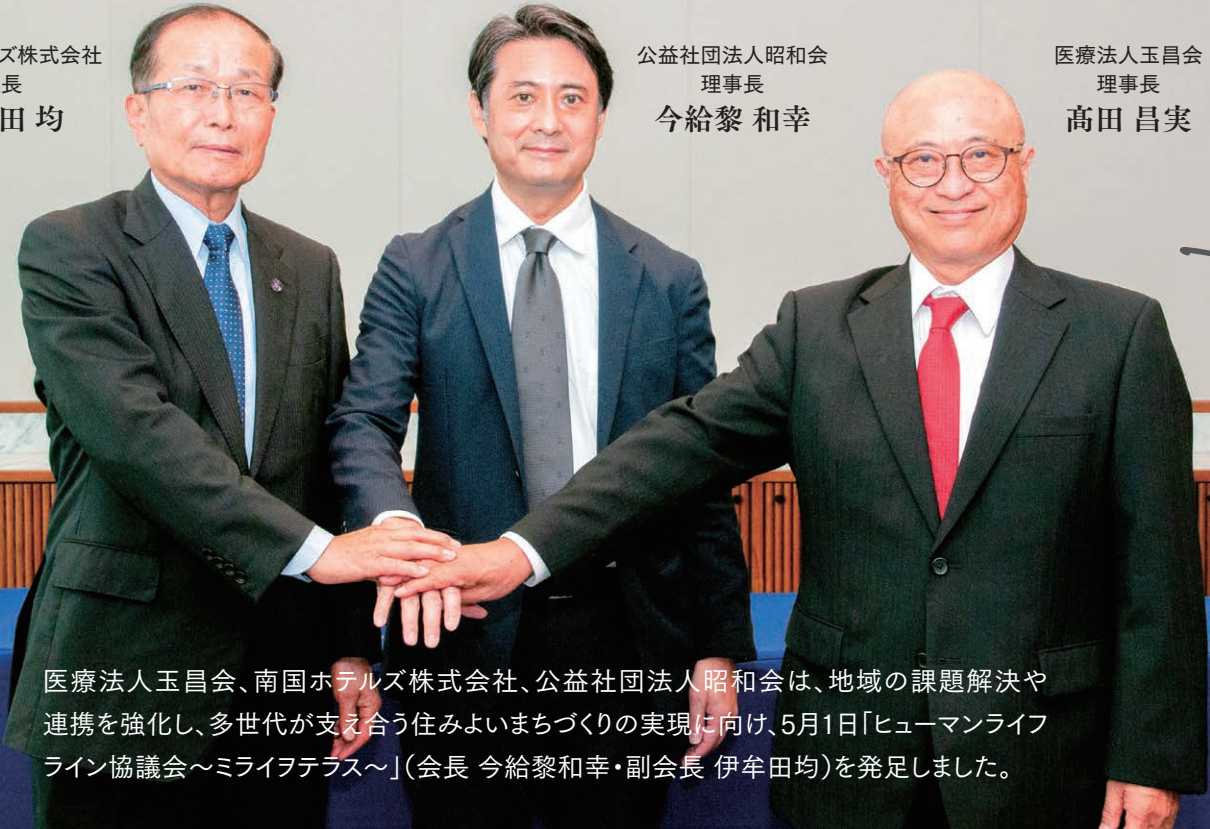
キラメキテラス  
KIRAMEKI TERRACE

# ヒューマンライフライン協議会 ~ミライヲテラス~ 発足式

南国ホテルズ株式会社  
社長  
伊牟田 均

公益社団法人昭和会  
理事長  
今給黎 和幸

医療法人玉昌会  
理事長  
高田 昌実



医療法人玉昌会、南国ホテルズ株式会社、公益社団法人昭和会は、地域の課題解決や連携を強化し、多世代が支え合う住みよいまちづくりの実現に向け、5月1日「ヒューマンライフライン協議会~ミライヲテラス~」(会長 今給黎和幸・副会長 伊牟田均)を発足しました。

いまきいれ総合病院  
医療機関向け広報誌

corner 第10号

発行日/2024年(令和6年)6月  
担当/広報連携チーム

発行/〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号

公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院



公益社団法人昭和会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL  
**いまきいれ総合病院**

〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号  
TEL: 099-252-1090 FAX: 099-203-9119  
<https://imakiire.jp/>



日本医療機能評価機構  
認定番号: UC2455号



公益社団法人昭和会は、  
2024年3月11日  
『健康経営優良法人2024』に  
認定されました。

当日入院のご依頼(緊急) **医療機関専用緊急ダイヤル** 救急患者のご紹介(24時間対応)  
TEL: 099-203-9115

医療連携全般のお問い合わせ **地域医療連携センター**  
TEL: 099-203-9110 FAX: 099-203-9101 月~金曜日 8:30~17:00

翌日以降の診療予約 **外来予約センター** 診療予約・予約変更  
TEL: 099-203-9100 FAX: 099-203-9101 月~金曜日 9:00~17:00

画像検査のご予約 **画像予約センター**  
TEL: 099-203-9102 FAX: 099-203-9144 月~金曜日 9:00~12:30 / 13:30~17:00

昭和会理念  
協力  
貢献  
向上  
教育



関連施設 **上町いまきいれ病院**  
〒892-0854 鹿児島市長田町5番24号  
TEL: 099-222-1800 FAX: 099-226-3366  
<https://kanmachi.imakiire.jp/>



いまきいれ子ども発達支援センター  
関連施設 **まある**  
〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目15-3  
TEL: 099-202-0325 FAX: 099-202-0326

いまきいれ総合病院の  
公式SNSもチェック!

